

大崎市有機農業・グリーン化推進協議会（宮城県大崎市）

R5補正
R6当初

07

背景・課題

大崎地域は、世界農業遺産「大崎耕土」に認定されており、豊かな自然環境を維持しながら将来にわたって持続可能な農業を地域に定着させるため、環境保全型農業を広く普及している。一方、担い手の高齢化や不足が課題となっており、スマート農業機器の導入等によるコスト削減及び作業の効率化が重要となっている。

成果目標

- 化学農薬の使用量低減：アイガモロボ及び水田用除草機による水田の雑草抑制
- 省力化：アイガモロボによる水田の雑草抑制（除草作業を1～2回程度削減）
- 省力化：水管理システムによる水田の水位等の遠隔管理（見回り時間の削減）

主な取組内容

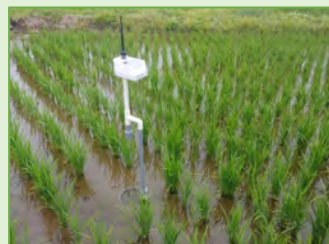
- アイガモロボによる水田の雑草抑制を検証
- アイガモロボと水田用除草機の併用による水田の雑草抑制を検証
- 水管理システムによる水田水位の遠隔管理を検証



アイガモロボ活用による除草・雑草抑制



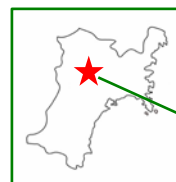
水田用除草機活用による除草・雑草抑制



水管理システムによる水田水位の遠隔管理

普及に向けた取組

2023年度は、土壌の均平化の取組検証を行ったが、一部の検証ほ場において想定した雑草抑制効果が得られなかった。これらの課題に対応するため、2024年度はアイガモロボに加えて水田用除草機を併用して検証している。みどりの食料システム戦略と協調した環境保全型農業や有機農業の推進のためのスマート農業の普及拡大に向けて、引き続き検証を実施する。



大崎市

構 成 員

大崎市、県普及センター、JA古川、JA新みやぎ、農業者、農機メーカー

品 目

水稻

問い合わせ先

大崎市産業経済部農政企画課
TEL：0229-23-7090